

様式第 1 号（第 7 条関係）

審査基準・標準処理期間整理票

処分の内容	防火対象物の定期点検報告制度の特例認定		
根拠法令 及び条項	消防法第 8 条の 2 の 3 第 1 項		
審査基準	<input checked="" type="checkbox"/> 有（第 4 条第 1 項に該当する場合を含む。） <input type="checkbox"/> 無（根拠：第 4 条第 2 項第 号に該当）		
	公表 <input checked="" type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない（公表しない場合の根拠：第 7 条第 4 項第 号に該当）		
	<p>【内容】（※審査基準を公表する場合のみ記載すること。）</p> <p>審査基準が法令に具体的に規定されているため審査基準を設定する必要がない。</p> <p>〔点検及び報告義務を適用しない防火対象物〕</p> <p>第八条の二の三 消防長又は消防署長は、前条第一項の防火対象物であつて次の要件を満たしているものを、当該防火対象物の管理について権原を有する者の申請により、同項の規定の適用につき特例を設けるべき防火対象物として認定することができる。</p> <p>一 申請者が当該防火対象物の管理を開始した時から三年が経過していること。</p> <p>二 当該防火対象物について、次のいずれにも該当しないこと。</p> <p>イ 過去三年以内において第五条第一項、第五条の二第一項、第五条の三第一項、第八条第三項若しくは第四項、第八条の二の五第三項又は第十七条の四第一項若しくは第二項の規定による命令（当該防火対象物の位置、構造、設備又は管理の状況がこの法律若しくはこの法律に基づく命令又はその他の法令に違反している場合に限る。）がされたことがあり、又はされるべき事由が現にあること。</p> <p>ロ 過去三年以内において第六項の規定による取消しを受けたことがあり、又は受けるべき事由が現にあること。</p> <p>ハ 過去三年以内において前条第一項の規定にかかわらず同項の規定による点検若しくは報告がされなかつたことがあり、又は同項の報告について虚偽の報告がされたことがあること。</p> <p>ニ 過去三年以内において前条第一項の規定による点検の結果、防火対象物点検資格者により点検対象事項が点検基準に適合していないと認められたことがあること。</p> <p>三 前号に定めるもののほか、当該防火対象物について、この法律又はこの法律に基づく命令の遵守の状況が優良なものとして総務省令で定める基準に適合するものであると認められること。</p>		
	審査基準 設定年月日	年 月 日	審査基準 最終変更年月日

標準処理期間	<input checked="" type="checkbox"/> 有(第6条において準用する第4条第1項に該当する場合を含む。) 期間 (30 日) <input type="checkbox"/> 無(根拠: 第6条において準用する第4条第2項第 号に該当)		
標準処理期間 設定年月日	令和6年 3月21日	標準処理期間 最終変更年月日	年 月 日
所管部署	消防本部 予防課		
備考			

注 許認可等をするかどうかの判断基準が法令又は条例等において具体的に規定し尽くされているため審査基準を設定する必要がない場合は、その旨及び当該法令の定めを審査基準の内容欄に記載すること。